

各地の出先機関から専門家が活躍(東北、北陸地方整備局等) 国土交通省

- ・全国の各整備局(東北・関東・北陸・中部・中国・四国・九州)や国の研究機関から砂防の専門技術者を集結し、広域災害に対応
- ・市町村の被害調査や緊急対応に関する助言・指導など専門技術を活用し被災自治体を支援
- ・特に東北・北陸地方整備局のTEC-FORCEは、中越・宮城沖地震での河道閉塞対応の経験を活かして現場で活躍



国総研、土研等による
高度技術支援調査
(土石流)



本省都市局による
高度技術支援調査
(まちづくり)



知見を活かし調査にあたるTEC-FORCE

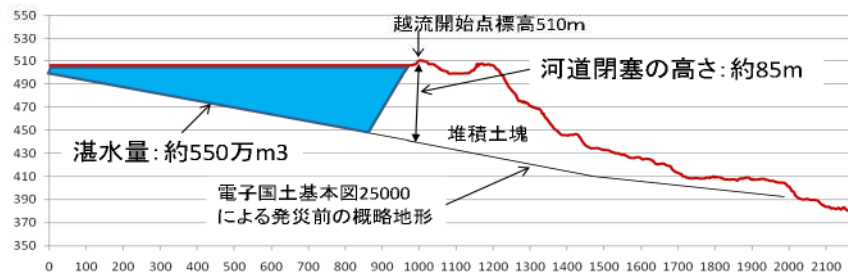
調査結果を報告する
TEC-FORCE

各地の出先機関から専門家が活躍(土木研究所)

土木研究所の専門技術者による土石流氾濫シミュレーションで影響範囲を解析結果を土砂災害緊急情報に活用



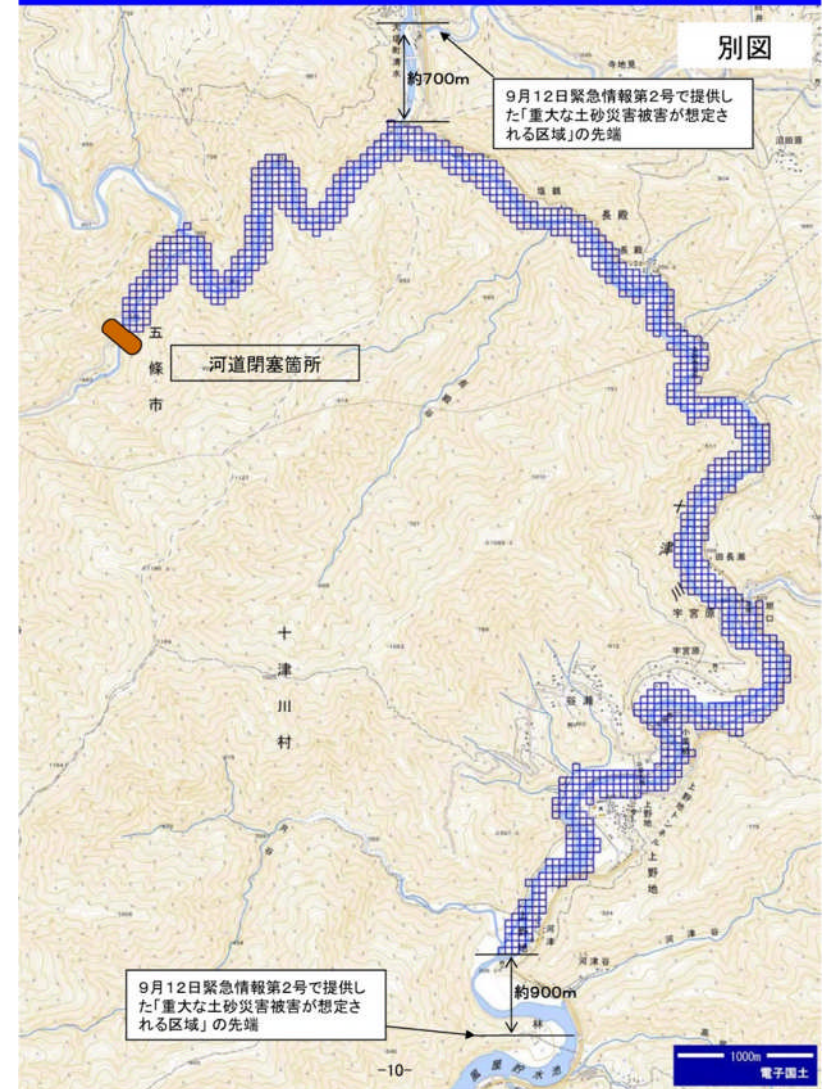
A~A'断面 単位:m



測量データを土砂災害緊急情報に活用

B~B'断面 単位:m

土石流等による被害が想定される土地の区域(赤谷)

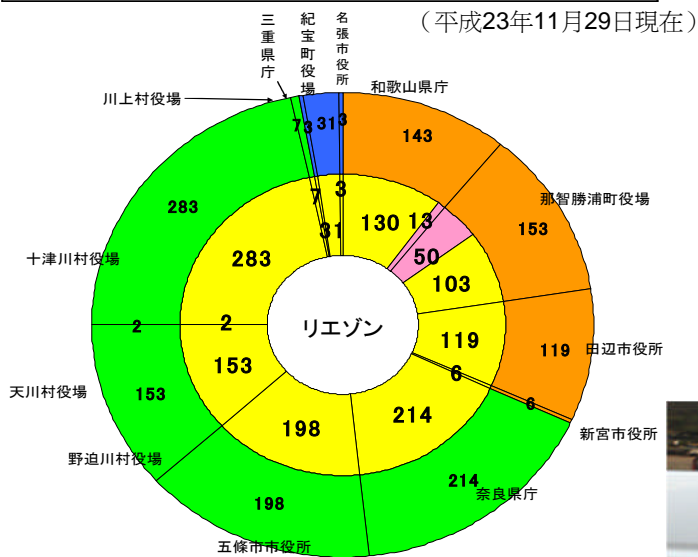


高度な技術により作成されたデータ資料 (赤谷地区の例)

近畿地整はリエゾン派遣や災害対策車両により被災自治体を 国土交通省

- ・大規模な被災を受けた那智勝浦町には被災直後からリエゾン職員を30名規模で派遣し、行政機能を代替
- ・約3ヶ月に渡り、全国の整備局より和歌山県庁や那智勝浦町など13の行政機関に延べ1,300人余りを継続的に派遣、TEC-FORCEも延べ4,400人余りを派遣し支援
- ・山間部における広域的大災害であったため、各整備局の災対車、照明車、衛星通信車等を招集し、各地に配備。夜間の応急対策の実施や断線・停電する役場のライフラインを確保

各自治体等に延べ1,315人を派遣



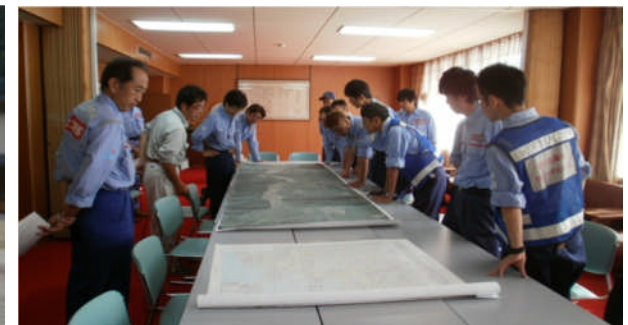
緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE) を派遣

9月4日から608人(他地整等389人含む)、のべ4,423人・日を派遣

(平成23年11月29日現在)



陸上からのアクセスが困難なためヘリにより十津川村へ派遣



那智勝浦町役場にてTEC-FORCEとの打合せ

TEC-FORCEがマスコミへ対応等行政機能を肩代わり



陸上自衛隊と共に救援物資等の仕分け作業



照明車の活躍により夜間の視認性を確保し県道復旧工事用土のうを作成(那智勝浦町)



衛星通信車による回線の確保

各地方整備局等による支援活動の状況



被災地に向かう災害対策ヘリコプター「きんき号」



災害対策本部(那智勝浦町)



衛星通信車による回線の確保

〈災害対策用機械延べ稼働台数(台・日)〉

(平成23年11月29日現在)

〈ヘリコプター派遣機数(機・日)〉

(平成23年11月29日現在)

災害対策用機械名	地整名	合計
排水ポンプ車	近畿・東北・関東・北陸・中国・四国・九州	727
照明車	近畿・北陸・中国	1,351
対策本部車	近畿	13
衛星通信車	近畿・北陸・中国・四国・九州	82
Ku-SAT	近畿・北陸・四国	901
分解型油圧ショベル	中部	84
散水車	近畿	159
路面清掃車	近畿	187
側溝清掃車	近畿	30
排水管清掃車	近畿	29
応急組立橋	中部	23
合 計		3,586

飛行内訳	出動台数
奈良県調査	28
和歌山県調査	7
広域調査	3
土砂ダム定点監視	102
その他	22
合計出動台数	162